



講演会には関係者約100人が参加した

ない臭素の機能を引き出し応用していくことに向けた取り組みを進めることになっている。

今回の講演会開催はその第1弾ともなるもので、産業界から平山義人 ICL-IP JAPAN 社長が「Global Bromine Industry And Its Outlook - Production by Country, Production Process, Application and Forecast」と題して世界の臭素事情やその利用状況について講演。また学界からは落

## 臭素化学懇話会が始動

### 第1回講演会を開演 新機能の開発へ

組織・臭素化学懇話会(会長・宇野英満)

愛媛大学教授)が具体的活動を本格的に開始した。このほど日本化学会中国四国支部との共催で愛媛大学理学部(愛媛県松山市)において第1回講演会を開催したもので、全国から幅広い関係者100名弱が参加した。

臭素化学懇話会は「世界的に資源問題が叫ばれるなか、豊富な資源である臭素およびその誘導体の特性や機能を解明し有

産業界の協力により今年春に発足した。臭素を専門に扱う組織としては世界初で、各研究者ごとに私蔵されている情報・知識交流の場として機能していくことが期待されている。とくに資源問題や環境問題との関連で「希少元素利用の脱却と豊富元素の利用促進」などの「元素戦略」という概念が提唱されているなか、豊富な元素でありながら未知の部分が少ない

http://www.bromine.chem.yamaguchi-u.ac.jp)で閲覧可能。